

陣馬山山行報告

☆日 程：10月14日（日） 天候：曇り時々小雨のち晴れ

☆行 程：JR 藤野駅改札口 9：05 集合

藤野 9：15⇒9：21 陣馬山登山口 9：29⇒12：07 陣馬山山頂－昼食・記念写真－13：25 下山⇒14：10 明王峠（休憩）14：23⇒15：05 大平⇒15：53 相模湖展望台（休憩・雨具脱ぐ）⇒16：11 与瀬神社⇒16：43 相模湖（靴の泥落とし）17：00⇒17：08 高尾⇒17：13 あさかわ食堂（2名）

☆参加者（敬称略）：三浦（L）、鈴木（勝）、加田 3名

☆雑 感：

今年は夏から初秋にかけて異常気象を思わせる猛暑、大雨、豪雨、連続して日本列島を縦断した大型台風により予定された会の山行も中止となり、加えて個人的な事情もあり山歩きはご無沙汰していました。10月も半ばとなり山のシーズンになってきたこともあり、まだ無罪放免にはなっていませんが、体調が良いこともあり自己判断でそろそろ山歩きを始めようと思いつくとして今回の陣馬山（855m）山行を計画しました。今回の山歩きは、個人的には7月22日の夏山トレーニングを兼ねた編笠山（2524m）以来85日ぶりとなります。

陣馬山にはいろいろなコースがありますが、今回は神奈川県側のコースノ尾ノ尾根（一ノ尾尾根）から登ってみることにしました。朝起きて外を見ると小雨が降っていましたが家を出るころにはほぼ止んでいたので傘は使わずに済みました。藤野駅に着いても雨はほぼ止んでおり時々パラつく程度の空模様、登山口までバスを利用しました。バスの所要時間5分ほどなので晴れていれば歩いて30分ほどですが、今朝の京王線、JRの車中は日曜日とは思えないほど登山客が少なかったです。ところが、藤野駅改札口には「森の自然…会」の参加メンバーが20～30人ほど集まっていました。それが同じバスなのでぎゅうぎゅう詰めでした、我々は数分で降りましたが連中は終点までの乗車。後で登山道の途中和田峠からの分岐で再会しました。

陣馬山登山口と彫られた立派な石碑のあるところからきょうの山歩きがスタートしました。雨は降っていませんが曇り空は広がっています。急な雨と防寒を兼ねて雨具を着用して行きました。スギ、ヒノキの植林地と雑木林の尾根道をひたすら登っていく。ところどころぬかるんだ箇所をいくつか通り、ときおり雲間から一瞬の日差しもあるなか晴れるのを期待しながら歩く。山頂手前の木階段の急坂を登るころに小雨が降り出しましたが数分で止みました。山頂にある3つの茶屋（清水茶屋、富士見茶屋、信玄茶屋）のうち信玄茶屋の屋根付きの外の休憩場所で昼食することにしました。昼食しているうちにシンボルの馬のモニュメントのほうを見るとなんと青空が見えてきました。まだ富士山は雲の中、きょうは当てにしていなかったのとくにごっかりもしません。山頂で昼食と展望を楽しんでいたら景信山から来たという数名の女性にスマホのシャッターを頼まれ、ついでにこちらをお願いしたりして、ほぼ1時間半ほど費やし下山することにしました。当初予定通り奈良子峠、明王峠を経て与瀬神社からJR相模湖駅に向かいました。明王峠まではアップダウンのない歩きやすい尾根道を、水捌けがいいのかほとんどぬかるみがない。明王峠を過ぎると狭い急なガレの下りとなり途中小石の積まれた石投げ地蔵を脇に見ながら注意して下る。大平茶屋で小休止、建物は解体再建工事中、薄暗い植林地をさらに進むと相模湖が足下に望める展望台に出ました。ここで小休止と雨具等を脱ぎ身軽になってまたも急なガレを下り、与瀬神社にでる。きょうの無事登山のお礼を済ませ、正面の急な石段は手摺もなく恐怖を感じ、安全に脇道を通り16：43相模湖駅に着く。駅にある靴の洗い場で泥を落としホームに向かう。高尾での反省会久しぶりの「あさかわ食堂」で喉を潤し、美味しい肴で大満足。85日ぶりの足慣らし山行無事終了、なんとか歩けました。同行のお二人様ありがとうございました。

2018.10.15 三浦記

写真：<https://drive.google.com/drive/folders/1APYuf4T0DwUqGL1l-BHAYgXsXtj-OSvJ>